|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 20XX年X月X日（X）X時限目　　クラス：X年X組　 担当：XX　　１コマ４０分  『艾琳学日语』第1课-１日目  学習目標：  初めて会う友達に上手に挨拶ができる。（能正确运用与朋友初次见面的基本问候语） | | | |
| 时间 | 步骤 | 教学内容  （活動）「発言」 | 教具、注意事項、生徒の動き |
| 5分  5/40 | オリエンテーション | （二外日本語授業と「二外版エリン」補助教材を用いての『艾琳学日语』の教材使用について説明する。）  「この教材では日本語の大切な表現を勉強したり、日本と中国の高校生文化を比べたりしましょう。その中で、必要な日本語での表現を勉強して、日本語や日本文化を楽しく勉強していきましょう。」 | テキスト配布  「二外版エリン」文字学習ページを複数枚印刷しておく。 |
| 5分  10/40 | 導入  ビデオを見る前に | 「今日のCan-doは、初めて会う友達に上手に挨拶ができる、です。（能正确运用与朋友初次见面的基本问候语）」  （PPT或いは教科書P1.を見て生徒に確認させる。）  「この授業では、毎回授業の最後に自分でその日の授業目標が達成できたかどうかを評価します。目標は日常生活のやりとりを日本語で、「○○できた」か「○○できなかったか」です。これをCan-doと呼びます。また、文字を勉強したい生徒は、この用紙を使って自分で勉強してみてください。」（「二外版エリン」文字学習ページを印刷したものを配布する。）  「皆さんは、初めて会う友達に挨拶する時、どんな表現を使いますか？」  （生徒から口頭で出てきたものを板書する。） | 目標をはっきりと提示することによって、意識を持って授業に臨むことができる。  まずは、「あ行」から、終わった生徒にはテストをして、合格したら「か行」と進んでいくように説明しても良い。 |
| 15分  25/45 | DVDを見る。 | 「それでは、まずは１回日本の高校生が初めて会う友達にどんな挨拶をするかDVDを見てみましょう。」  （DVD基本スキットを１回見せる）  「エリンが日本の学校に転校してきたようですね。エリンが初めて会う日本の友だちにどうやって挨拶していましたか？さっき、皆さんが挙げたこの表現を使っていたでしょうか。もう一度見ます。今度はエリンの挨拶に注目して見てください。」  （DVD基本スキットを１回見せる）  「どうでしたか？みんなが挙げた表現はどんな日本語でしたか？」  （板書した表現の横に、生徒が聞き取れた表現をローマ字で書きこむ。間違っていたり、中国語と対応していなかったりしても気にせず、たくさん書く。）  「次にP.２と３を見てみましょう。さっき見たDVDの内容の漫画です。最後に漫画を見ながら、初めての挨拶だと思うところに下線を引いてみましょう。」  （もう一度DVDを見ながら、板書した表現に対応したものがあれば、その表現の隣にローマ字を書く。） | まだマンガ部分を見せない。 |
| 3分  28/45 | 語彙導入 | （教科書P.5①～③を読み、ローマ字を書く。）  ①はじめましてHajimemashite　初次见面  ②から　Kara 从  ③来ました　Kimashita　来了  （語彙は簡単に、意味と発音が分かる程度。余裕があれば中国、日本、イギリスも提示。） | 生徒はノートに書きとり、各々発音練習をする。その後、教師と一緒にコーラス。 |
| 5分  33/40 | 基本練習 | 「エリンは、初めまして、エリンです。イギリスから来ました。と言っていましたね。」  （板書or　PPT）  初めまして　Hajimemashite  ○○（名前）です。Desu  ○○から来ました。Kara kimashita  ～～～  どうぞよろしくお願いします。Dozo yoroshiku onegaishimasu  （挨拶の最後は、どうぞよろしくお願いします。を使うことを説明する。）  （教師とコーラス×３回） | 文字に集中させないように、教師は生徒を見て発声する。 |
| 3分  36/40 | 応用練習 | 「立って、周りの人に今日勉強した日本語で初めての挨拶をしてみましょう。５人の友だちと挨拶できたら座ってください。」 | 教師も生徒と一緒に挨拶をする。 |
| 4分  40/40 | 応用スキットを見る  Can-doチェック | 「転校してきたエリンが日本の高校でどんな生活を送るか、気になりますね。ちょっとだけ続きを見てみましょう。」  「これで第一課一日目の内容は終わりです。それでは、Can-doチェックをしてみましょう。今日の目標は何でしたか？初めて会う友達に上手に挨拶ができる。ですね。P.55のチェックシートを見て、自己評価しましょう。」  （生徒は今日の内容を振り返り、自己評価をする）  「これから、このチェックシートをファイルに保存して、自分が日本語でこんなことができるようになったと目で分かるようにしましょう。」  （ファイルを配布し、チェックシートを入れる） | 中国語字幕で見せても良い。  教師がオリジナルのCan-doチェックシートを作って配布しても良い。  自己評価、他己評価、教師評価があると公平なチェックも可能。  \*ポートフォリオ |

※Can-doチェックについて…

　Can-doチェックのとき、付けさせた後に、どのレベルに自己評価したか挙手させたり、数名の生徒に「○○さんはどのレベル？」と尋ねたりする習慣をつけると、自己評価の習慣が付きます。

※ポートフォリオとは…

　生徒の成長を視覚的にみられるように、自己評価シートや成果物をまとめておくファイルのこと。ポートフォリオを教師が生徒と一緒に見ることで、何ができて何ができないか、自分の得意な部分、苦手な部分が分かり、目標を意識しやすくなる。また、テストの点数だけで生徒を評価することなく、成長や自己評価シート結果を生徒と一緒に見ることで評価に公平性、妥当性が生まれる。

※教師使用言語について…

教案は日本語で書かれていますが、指示や説明は中国語で行います。ただし、文法や語彙の説明をし過ぎることには注意が必要です。たくさん説明しても生徒たちは一週間に一度の授業ですから、あまり覚えられません。必要最低限の部分（教案で説明している部分）だけを説明して、残りは生徒から質問があれば説明する程度で問題ないでしょう。